

問 地域で安心・安全に生活するには

答 区の維持・活性化には全力で取り組む



太田正治議員

え、各行政区について紹介し、行政区への加入をお願いしたり、外国人転入者についても、行政区を説明している英語版の「生活ガイドブック」を作成配布するなど、行政区への加入促進策を進めています。

問 外国人居住者との懇談会は。

村長 インバウンドの進展から今後増加するであろう外国人居住者の皆さんとは、白馬村発展のために共に協力していかなければなりません。そのためにも11月18日に開催しました外国人との懇談会のように、外国人の方と地域の日本人が交流できるようなイベントを企画し、お互いを知ることにより、外国人の方の行政区の加入へつなげるよう取り組みを進めたいと思います。

問 【防災無線について】

村長 防災無線の戸別受信機数は。

村長 平成4年に運用を開始し、12月1日現在2150台の戸別受信機が、村内の家庭や事業所に設置されています。

問 屋外子局数は。

村長 村内36カ所に設置してあります。

問 戸別受信機の聞こえが悪い理由は。

村長 家電のLED照明・パソコン・テレビなどの影響や、また、夏は木々により受信状況が悪化するといったことは把握しています。

問 受信を良くするには。

村長 窓際に設置していただくほか、他の家電と離して設置するなどの工夫も必要だと思います。これにより改善されない場合には、個人による費用負担が生じますが、アンテナの設置をお願いしているところもあります。

問 【共同調理場建設事業について】

村長 共同調理場及び学校給食施設更新の検討経過、及び方針は。

教育長 3月13日に第1回検討委員会を開催し6月30日に第2回目の委員会を開催し7月15日に東御市北御牧給食センターの先進地視察を行い施設更新による方式別経費比較を協議しました。村及び教育委員会の方針としては、村の未来を担う子供たちに対して「平等な教育環境の享受と平等な子育て環境の提供」を念頭に、施設の更新を進めていきます。

問 住民への説明会は。

教育長 8月27日にウイング21にて全村対象とした説明会を開催しましたが、参加者が少なく周知不足であったと反省しています。幼稚園PTA、南小学PTAにも説明会を開催しました。

問 全村対象とした説明資料の配布とアンケートの意見収集は。

教育長 回収結果は3600枚配布に対し、約60枚のアンケート回収をいただき回収率1.6%となっています。

問 検討委員会の今後の予定は。

教育長 年度内に検討結果をまとめて報告の予定です。



防災無線 屋外子局